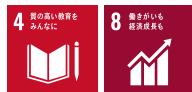


要請番号 (JL47525B02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チュニジア	G157 日本語教育		個別	新規 1代目	2年	・2026/1・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

高等教育・科学省

2) 配属機関名（日本語）

ラ・マヌーバ大学

3) 任地（ラ・マヌーバ県ラ・マヌーバ市） JICA事務所の所在地（チュニス県チュニス市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約1.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、首都チュニス市の西10kmほどに位置し、チュニス大学を母体として2000年に設立された公立大学となる。全学生数約14,000名、教職員数約1,400名で、文学・芸術・人文学部と14の高等教育機関(獣医、情報科学、デジタル経済、商業、デザイン科学技術、報道・情報科学、バイオテクノロジー、会計・経営、図書情報学、チュニジア現代史、特別支援教育、マルチメディア芸術、スポーツ・体育、工科)が設置されている。文学・芸術・人文学部では約4,000名の学生がアラビア語、フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、史学、地理学の学科及び修士・博士課程で学んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国は伝統的に親日的な国であり、マンガやアニメをきっかけに日本に関心を持つ学生も多く、大学公認の日本文化クラブも存在している。また、同大学は学科にとらわれず、多様な言語を学生に学ばせたいという意向があり、今回の要請に至った。同大学では20年前からKOICAボランティアによる韓国語講座が実施されているほか、トルコ語、ポルトガル語、ルーマニア語等の講座も開講されている。日本語講座を担当するチュニジア人講師はおらず、講座の運営・実施は主に隊員が担うことになるが、前述の日本文化クラブとの連携による活動も期待されている。なお、日本語の授業は学生向けの公開講座として実施され、単位の対象外となる。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

文学・芸術・人文学部の関係者と協議しながら以下の活動を行う。

- 1.新規開講する日本語公開講座のコースデザイン
 - 2.日本語講座の運営(受講者募集、クラス編成、試験・成績付け等を含む)と授業実施(レベルは入門～初級、コマ数は未定)
 - 3.学部内のクラブ(Otaku Society Club FLAHM、主にアニメ・マンガ文化の共有、交流、イベントを企画)と連携した日本文化理解向上のためのイベントの企画・開催
- ※試験・夏休み期間中(6～8月)は公的な授業がないため、配属先関係者等と調整の上、集中講座やイベント等の企画を模索する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、プロジェクター、コピー機。教材やその他の器材等については、任地配属後に配属先責任者と調整する。

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先責任者】 文学・芸術・人文学部の教務課長(女性・50代)

【配属先同僚】 文学・芸術・人文学部の事務スタッフ

【活動対象者】 日本語講座の受講学生(50~100名)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)又はフランス語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（日本語教育に関する資格）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒） 備考：高等教育機関で指導するため

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：経験に基づいた指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（5~40°C位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水源]：（安定）

【特記事項】

・現地ではフランス語も通用するが、一般にアラビア語チュニジア方言が使用されており、着任後にアラビア語チュニジア方言の現地語学訓練を実施する。

・[大学ホームページ](#)・[学部ホームページ](#)

【類似職種】